

平成 25 年度行政組織機構の 一部見直しについて

高度化・多様化する市民ニーズ、緊急課題等に対して、市民サービスの低下を招くことなく迅速に対応するため、組織強化や効率的な事務の推進を図る観点から、次のとおり行政組織機構の一部見直しを行いました。

◇税務徴収課内に徴収推進室を新設

市全体の未収金対策の一環として、市税部門の収納体制を強化する必要があり、徴収推進室を新設します。

◇市営牧場の廃止

平成24年12月議会において、市営牧場の設置及び管理に関する条例の廃止が議決されたことにより、市営牧場を廃止します。

◇水道課庶務第一グループと庶務第二グループの統合

簡易水道事業と上水道事業の統合を平成28年度に控え、統合に向けた効率的な事務を推進する必要があることから、庶務第一グループと庶務第二グループを統合し、総務グループを設置します。

■問い合わせ■ 総務課 行政改革推進室 ☎52-1111（内線321）

まちのできごと



ドクターヘリ安全講習会

1月30日、水戸市のホテルにおいて、救急搬送に係るドクターヘリ安全講習会が開かれました。この講習会は茨城県、水戸医療センター及び水戸済生会総合病院が主催したもので、県内医療機関、県内消防本部、自衛隊等各関係機関から約120人が参加しました。日本ヒューマンファクター研究所教育研究室長の塚原利夫先生の講義の後、安全運航に関する課題等のプレゼンテーションが行われ、各関係機関から活発な意見や提案が議論されました。

ドクターヘリは、治療開始までの時間や医療機関への搬送時間を短縮し、患者を救命することを目的としています。

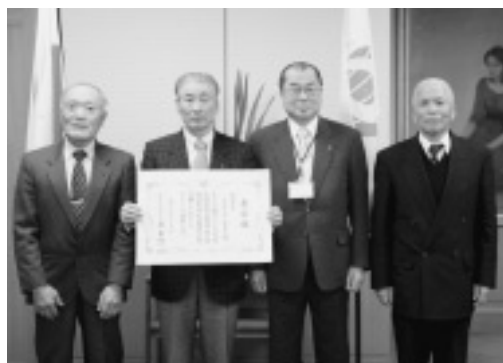
常陸大宮市管内でのドクターヘリ要請は、運用開始2年半で約180件となり、重症度や緊急性の高い患者の搬送システムとして期待されています。

ドクターヘリの離発着時には激しい風が巻き起こり、土埃等が舞い、近隣関係者に大変ご迷惑をかけることも発生しますが、人命救助活動にご理解をいただき、ご協力をお願いします。



上大賀区が 生活環境部長奨励賞を受賞

先日行われた、茨城県集団回収優良団体表彰式で上大賀区（稲葉庸治郎区長）が、生活環境部長奨励賞を受賞しました。同区は、平成22年度から区民全員でごみの集団回収に取り組み、適切な分別やりサイクルの向上に努めていることが評価され、受賞となりました。



▲受賞報告のため市役所を訪問
（左から寺門副区長、稲葉区長、三次市長、河野班長）

地球にやさしい取り組みに 茨城県より表彰

平成24年度に茨城県で実施された「いばらき緑のカーテンコンテスト」、「いばらきエコチャレンジ2012」で入賞された市内の方々を紹介します。

■いばらき緑のカーテンコンテスト

敬称略

◎生育部門（家庭の部）

優秀賞 石川和東洋（北町）

木村 秀子（東野）

佳作 岸 馨（国長）

■いばらきエコチャレンジ2012

事業所部門

◎省エネ節電部門

優秀賞（有）茅根電設工業

医療功労賞

2月6日、長年にわたり地域医療に貢献された人をたたえる「第41回医療功労賞」の表彰式が開催され、高村外科医院の高村善郎院長（山方）が表彰されました。

高村さんは医師歴62年。昭和37年



▲高村さん（前列左から3番目）

民間自治功労者表彰

2月7日、河野達之さん（上大賀）が、民間自治功労者として茨城県市長会より表彰されました。



河野さんは、平成14年に旧大宮町上大賀区長に就任して以来、地域のリーダーとして地域の発展に尽力されました。また、平成20年度からの4年間、常陸大宮市区長会の会長として、会の運営に尽力され、市全体の発展と社会福祉増進に大きく寄与されました。

さらに、平成17年度から5年間、国際交流協会会長として、国際的感覚を持った人材の育成、国際的視野に立った地域づくり及び国際親善に寄与し、会の運営に多大な貢献をされました。

理科教育優秀校に第二中

2月13日、県教育委員会教育長から推薦された県内小中学校の6つの理科教育優秀校に、幡谷教育振興財団賞として理科教育助成金が贈られました。市内では第二中学校（橋本勇夫校長）が受賞しました。

地域の環境を題材にした学習活動や問題解決型の授業づくり、授業研究会の実施、実験・実技研修会の運営等、市の理科教育推進の中核を担い、特に科学研究作品展及び発明工夫展には力を入れて取り組み、全校生徒を対象に作成のための研修会を実施して作品展に参加している点などが高く評価されました。



▲贈呈式に出席した橋本校長（右から3番目）

記者会見を実施

2月13日、市は平成25年度当初予算案についての記者会見を行いました。記者会見を行うのは、初めてのことで、今後、市の施策を積極的に発信していけるよう努めていきます。



今年度2回目の
ノーマイカーデー

茨城県公共交通活性化会議主催の「ノーマイカーデーいばらき」が、県内の企業、団体、官公庁等への通勤者を対象に実施されました。市役所では県内一斉取り組み日の2月15日に実施。日頃、車で通勤し

ている職員が、徒歩や自転車、公共交通機関を利用するなどして出勤しました。

この取り組みは、公共交通機関の利用促進と地球温暖化対策の一環として実施されているもので、公共交通機関の維持確保や地球温暖化の問題について考えるきっかけとなっています。



移動市長室開設

2月19日・21日・22日に、移動市長室を市内5地域で開設しました。平成20年度から実施している移動市長室は、市政を身近に感じてもらうことを目的として開設しています。19日は山方・美和地域、21日は緒川・御前山地域、最終日の22日は、

大宮地域で行われ、市民の方から貴重なご意見を頂くことができました。



▲美和総合支所にて



世界に誇れるホールを目指して

ロゼホールファンクラブ

野澤 和弘さん（高等学校教員）



2月1日に市文化センター「ロゼホール」は、大ホールの復旧工事が終わり再開されました。ロゼホールは、平成7年にオープンし常陸大宮の文化教養の発信地として重要な役割を担っています。今後有名なアーティストの公演や様々なイベントが予定されていて、ホールの運営にも大きな期待をしています。

この再開に合わせて「ロゼホールFC（ファンクラブ）」が結成されました。市民がロゼホールを盛り上げていこうという市民有志の会です。この会では、ロゼホールを広く知ってもらおうと、現在「ロゼホールクイズ」を行っています。ぜひたくさんの方に応募していただきたいと思います。（応募用紙はロゼホール、ロゼホールファンクラブホームページにあります）

世界に誇れる文化施設を目指し、常陸大宮市民としてロゼホールを盛り上げていきたいと思っています。

ロゼホールファンクラブホームページ

<http://rozehall-fc.jimdo.com/>

善意をありがとう

敬称略

〈図書情報館へ〉



ふるはし 旧橋 猛
旧橋猛写真集「心の豊かさ 強い絆」
No.1、No.2 各1冊



▲講師の県立小川高等学校長の横須賀義章先生



2月23日、緒川総合センター文化ホールで市内の中学校7校と高等学校2校が参加し、今回で5回目となる「Music Festival～音楽万歳～」が開催されました。

演奏会は2部構成で行われ、第1部は中学校と高等学校の吹奏楽部の

音楽の祭典



▲応急処置訓練

2月24日、御前山小学校を会場に、市内の防災関係機関、消防団員、学校及び地域住民等合わせて約760人が参加し、防災訓練が実施されました。訓練は、東日本大震災と同規模の震度6強の地震が観測されたとの想定で行われ、参加者は真剣に取り組んでいました。

防災訓練を実施

演奏と中学校の合唱、第2部は中学校による合同演奏そして合唱奏が行われました。合同演奏では講師の横須賀義章先生が指揮をされました。

中高生の心を一つにした演奏に、会場から大きな拍手が送られていました。



▲左から菊池さん、星野さん

任期満了により教育委員の根本淳子さん（山方）と高沢たか江さん（小田野）が退任され、新たに2月23日付けで菊池泰弘さん（照田）、星野幸子さん（鷹巣）が就任されました。

教育委員が変わりました



▲起震車訓練